

## 廃トナー ボックスと ドラムカートリッジ交換手順書

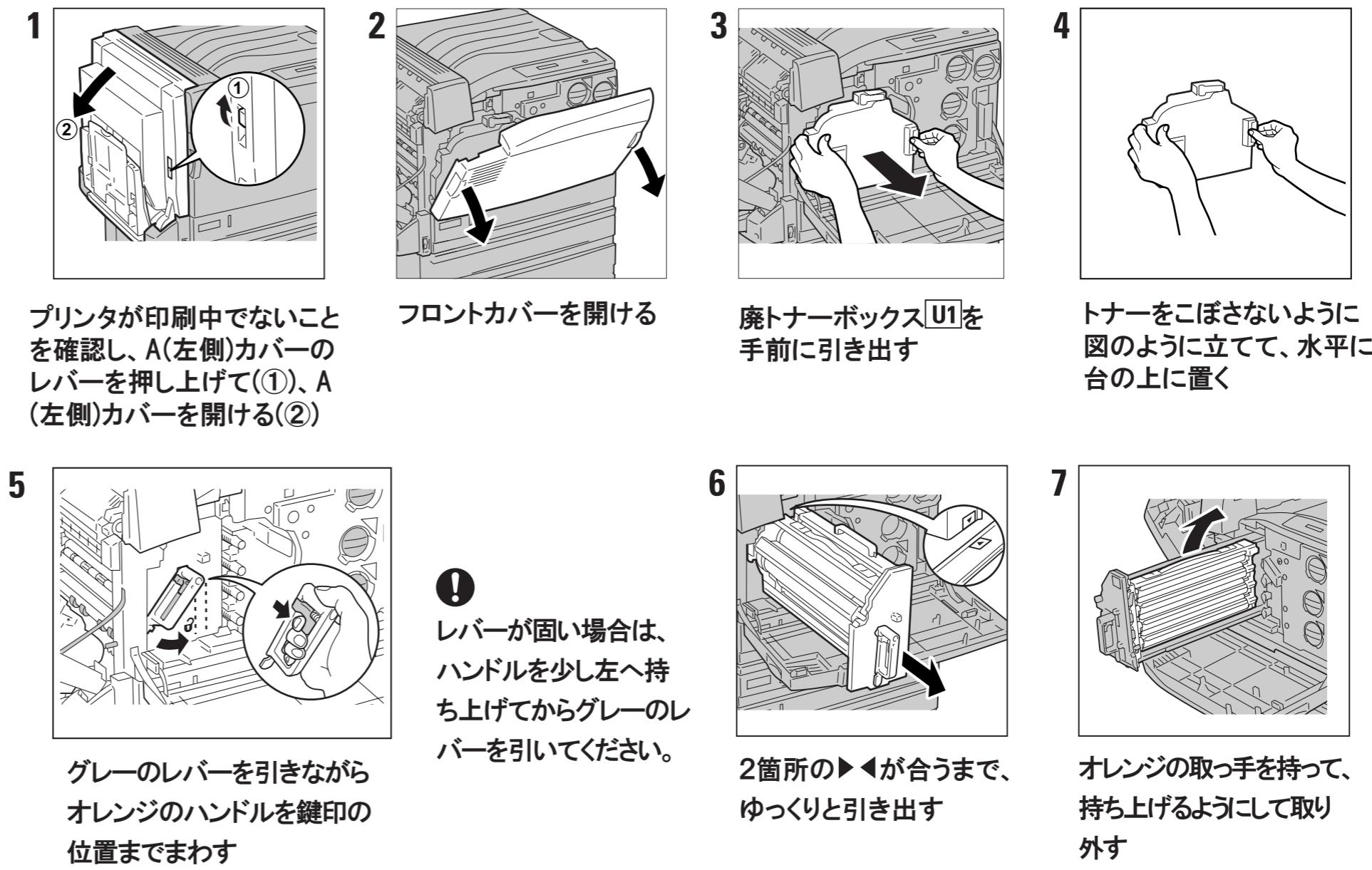
このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書では、ドラムカートリッジ、および廃トナーボックスを交換する手順を説明しています。安全にご利用いただくために、プリンタ本体の取扱説明書の「安全上のご注意」も必ずお読みください。

2006年3月 富士通株式会社

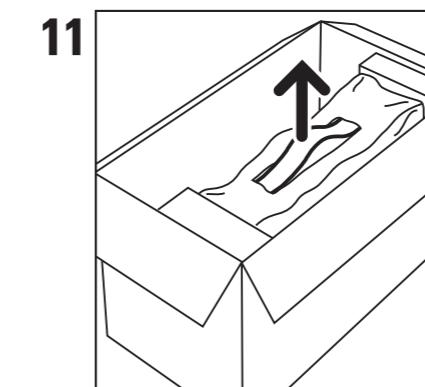
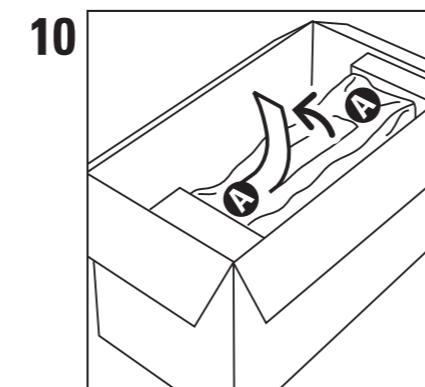
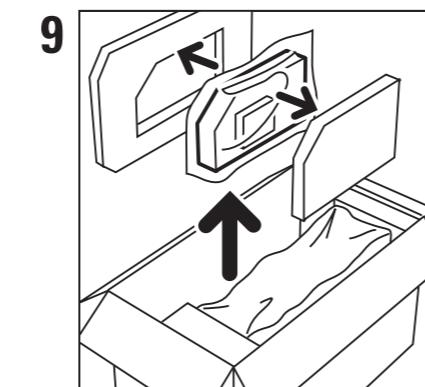
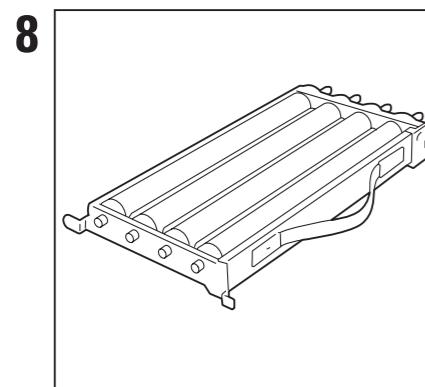
### ● 取りはずしかた



ドラムカートリッジの交換は、プリンタの電源を入れたまま行ってください。  
電源を切った状態で交換すると、ドラムカートリッジが破損する場合があります。  
電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データやプリンタのメモリ上に蓄えられた情報が消去されます。



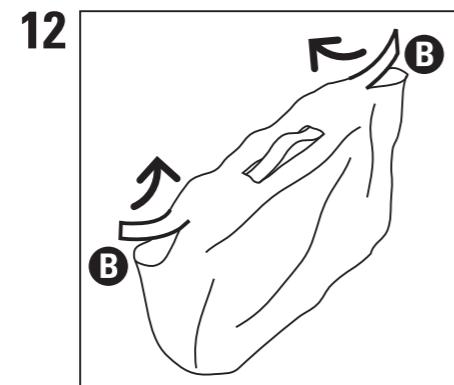
### ● 取り付けかた



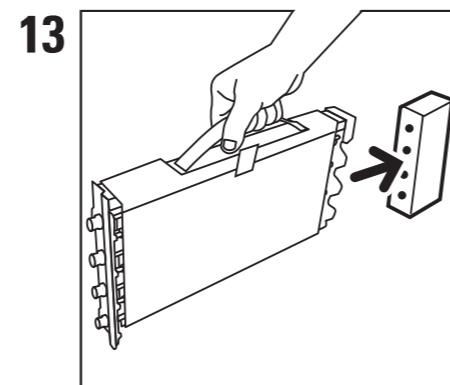
うらに続く  
→

おもて

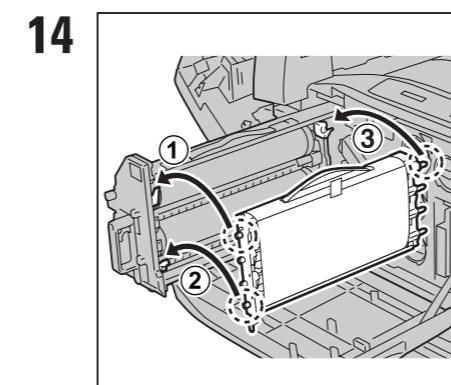
おもてより  
続く



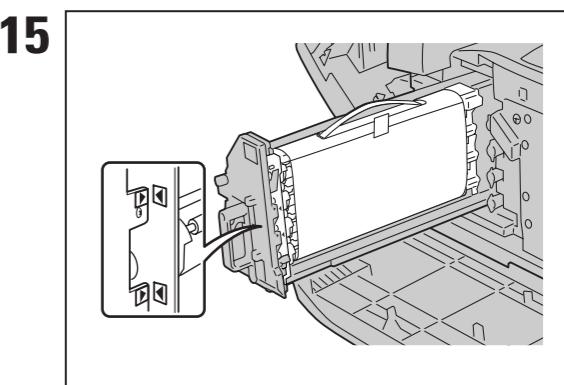
発泡スチロールを取りはずし、ふくろの上部**B**を左右から引っぱって切り取る



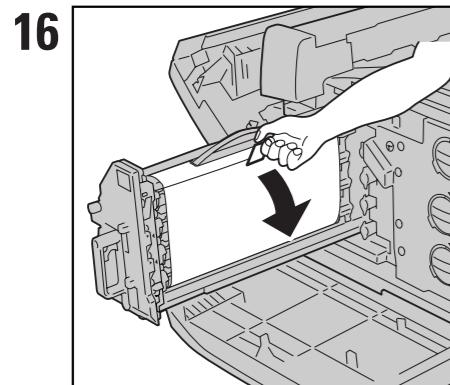
発泡材を取り除く



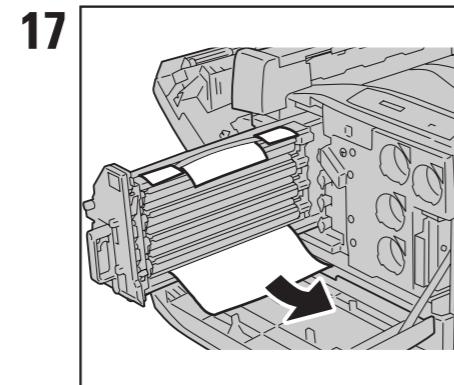
金属の突起部分①②を、手前のオレンジの受け部に先にのせてから、奥側の③をのせる



2箇所の▶◀が合っていることを確認する



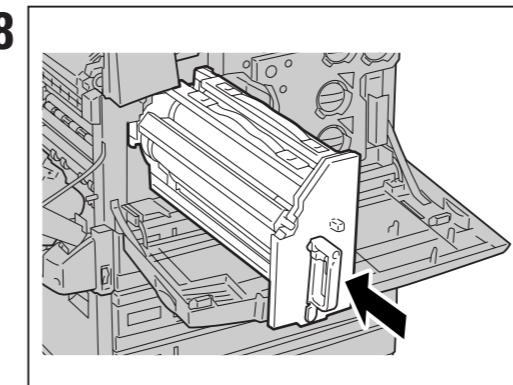
保護紙のつまみ部分から  
はがす



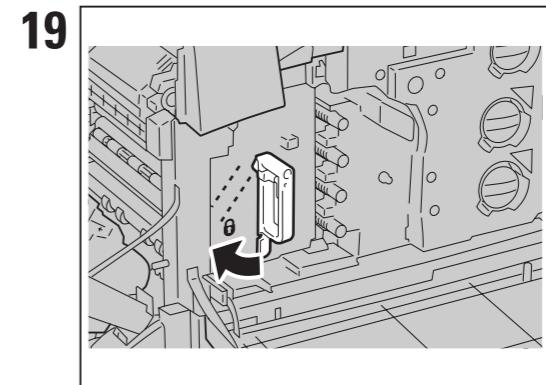
保護紙を矢印方向に引き抜く

! 保護紙をはずした後は、長い時間をそのままにしたり、強い光をあてないでください。

! 保護紙がうまく引き抜けない場合は、一度ドラムカートリッジを軽く浮かし、下側に引っ張るようにして抜いてください。

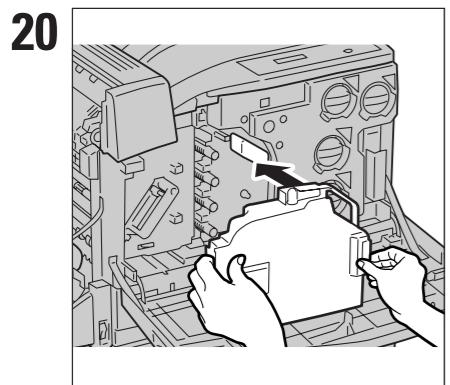


ユニットをゆっくりと奥まで押しもどす

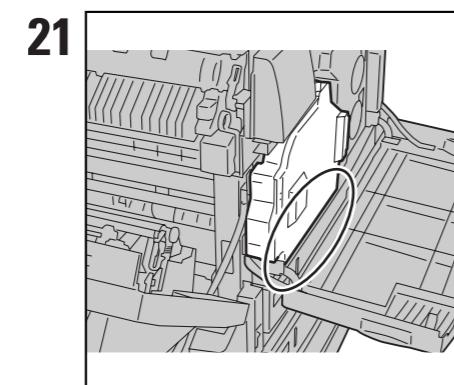


ハンドルをつきあたるまでまわす

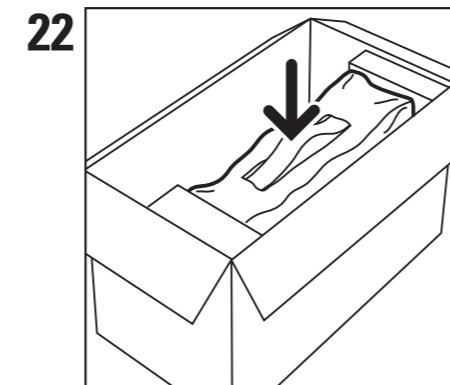
! ハンドルがまわりきらない場合は、ユニットをもういちど奥までしっかり押し込んでください。



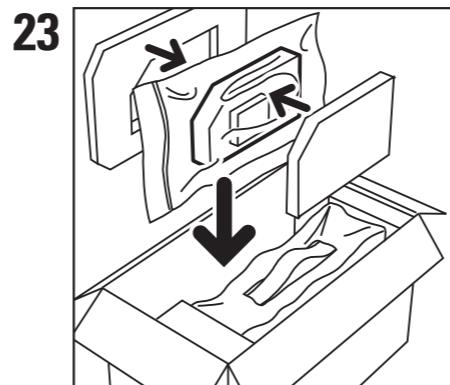
新しい廃トナーボックスを  
プリンタにはめ込む



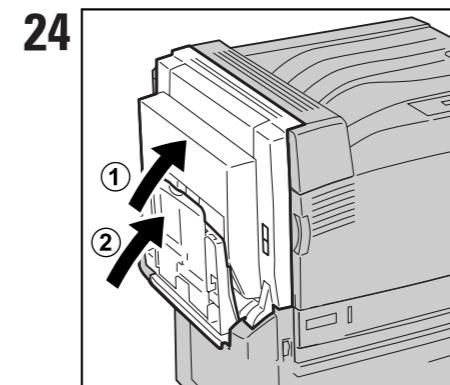
図のように、廃トナーボックスがプリンタのフレーム内に正しくセットされていることを確認する



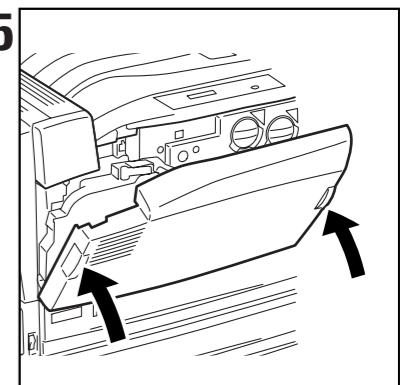
使用済みのドラムカートリッジをふくろに入れ、箱にしまう



使用済みの廃トナーボックスをふくろに入れ、箱にしまう



「ここを押して閉めてください。」  
と書かれた部分を強く押し、  
A(左側)カバーを閉じる(①)  
必要に応じて、用紙トレイ5  
(手差し)を上げる(②)



フロントカバーを閉める